

○大会について

- 主催  
 国スポ：(公財)日本スポーツ協会、文部科学省、開催県  
 障スポ：(公財)日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、開催県  
 ※各競技会は、大会主催者に加え、競技団体及び会場地市町村
- 会期  
 国スポ：9月中旬～10月中旬（11日間以内）  
 障スポ：国スポ大会終了後約1週間後に開催（3日間）
- 実施競技  
 国スポ：正式競技38 特別競技 1  
 障スポ：個人競技 6 団体競技 7
- 大会規模  
 総合開閉会式は約3万人,選手・監督・観覧者等を含め  
 延べ約70万人

○これまでの経過

- 令和2年2月 大会招致意向の表明
- 3月 県議会2月定例会において招致に関する決議
- 11月 開催要望書提出
- 12月 (公財)日本スポーツ協会 国体委員会
- 令和3年1月 同 理事会



第85回(令和13年)国民スポーツ大会  
 について「開催申請書提出順序了解県」と  
 して決定（内々定）

※第30回全国障害者スポーツ大会も  
 同様に開催

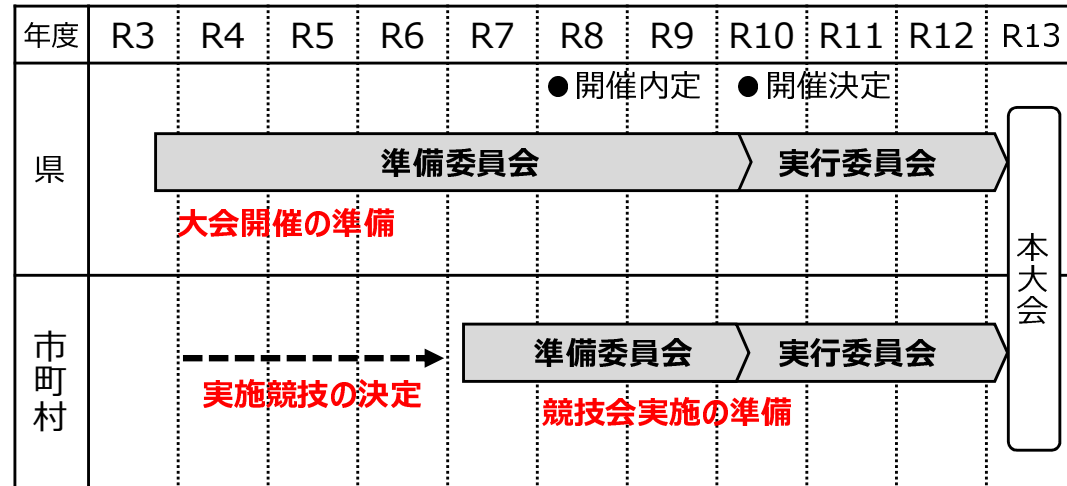
＜大会開催順＞

回	年度	開催地	決定状況
76	R3	三重県	決定
77	R4	栃木県	決定
特別回	R5	鹿児島県	決定
78	R6	佐賀県	決定
79	R7	滋賀県	内定
80	R8	青森県	内定
81	R9	宮崎県	内々定
82	R10	長野県	内々定
83	R11	群馬県	内々定
84	R12	島根県	内々定
<b>85</b>	<b>R13</b>	<b>奈良県</b>	<b>内々定</b>

○今後の予定

- 令和 8年 開催内定
- 令和10年 開催決定
- 令和12年 リハーサル大会
- 令和13年 本大会

○スケジュール



○県と市町村の役割

**県** → **大会開催の基本方針、総合開閉会式の実施、主会場の整備** など

**市町村** → **実施競技の決定、競技会の実施、競技施設の整備**  
 来訪者のおもてなし、地域の情報発信・PR など

○目指す方向性

- ◆ 大会の開催が一過性に終わることなく、大会を契機に**本県のスポーツの持続的な振興**、さらには**県民のスポーツや健康づくり**の関心の向上を図ることが重要です。
- ◆ 競技開催地となる市町村においても、大会後は実施競技が**地域に根付き、多くの住民がスポーツや健康づくりに関わるきっかけ**になればと願っています。
- ◆ 大会準備のスタートにあたり、このような県民全体が共有できるビジョン(目指す方向性)を検討していきます。

令和6年より「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」に改称